

6年生 常滑らしさを追究し、地域や未来に発信しよう

1 授業プログラムの特色

(1) ねらい

- ・ 常滑の美しい景観について調べ、未来に残したい風景を考える。
- ・ 協力して大型の陶板をつくる活動を通して、焼き物づくりのおもしろさや大変さ、伝統の技にふれる。
- ・ 自分たちの作った大型の陶板を設置して残したい常滑の風景を地域や未来に発信する。

(2) 連携・協力していただいたNPO等

- ・ 陶彫会
- ・ 常滑「手造り急須」の会

(3) 授業プログラムのよさ

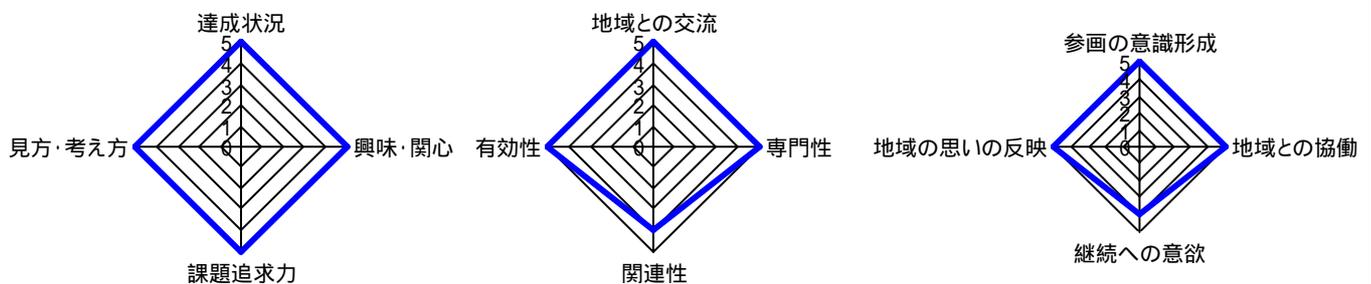
- ・ 常滑の美しい風景を探し、焼き物に残す活動を通して、地域に愛着をもつ。
- ・ 大きな陶板の制作に挑戦し、焼き物のおもしろさや伝統的な技能にふれる。
- ・ かわりつつある常滑の風景を焼き物にして未来に発信する。

(4) 検証の視点による評価のレーダーチャート

【子ども：学びの成果】

【教材：授業プログラムとしての質】

【教師：教師の意識】



〔子ども〕見方・考え方：常滑らしい美しい風景を探し焼き物にして残す活動を通して、常滑の歴史や伝統・文化に対する見方や考え方が変わったか。

〔教材〕有効性：常滑の風景を陶板にして残す活動は、地域に貢献しようとする児童の育成に有効であったか。

〔教師〕地域の思いの反映：常滑の風景を陶板にして残す活動は、地域の特性や人々の思いを反映させることができたか。

2 第6学年授業プログラム

(1) プログラム名(単元名) 「常滑らしさを追究し、地域や未来に広く発信しよう」

(2) ね ら い

- ・焼き物の町常滑に興味をもち、常滑らしさを未来に広げていくために、自分たちでできそうな活動を調べる。
- ・常滑のよさを調べる活動をするとともに、それを伝え広げていくための方法を考える。
- ・焼き物をつくる体験や設置する活動を通して、焼き物の様々な技能を学び、よさを感じ取る。
- ・自分たちの活動についてまとめ、ホームページや市の広報・ケーブルテレビなどでわかりやすく伝える。

(3) 時 間 数 27時間完了

(4) 学習計画

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
1	18年度の活動を振り返り、19年度の活動の見通しをもつ。	18年度の陶彫設置でよかったことを話し合う。 ・地域の人に喜んでもらった ・観光客の人が感心していた ・記念になった 19年度の活動について考える。 ・常滑らしさについて話し合う。 ・地域の役に立つことを考える。	18年度の活動を振り返る資料を提示する。 ・写真、スライド ・ビデオ ・新聞記事 写生大会の目的について考えさせる。	焼き物の町常滑に興味をもち、常滑らしさを未来に広げていくために自分たちでできそうなことを考えようとする。 (話し合い) (ワークシート1)	《準備するもの》 ・ワークシート1 ・18年度の記録
2	常滑らしさを追究し、未来に残す方法を考える。	常滑らしさの出ている美しい風景について考える。 ・煙突のある風景 ・登り窯 ・煉瓦 ・土管 常滑らしさを未来に残す方法を考える。	常滑のよさ、未来に残したい風景などを中心に考えさせる。 共同制作で取り組むことを前提として考えさせる。	常滑のよさを感じ、技術の伝承や町の活性化につながるものについて考えようとする。 (ワークシート2) (話し合い)	《準備するもの》 ・ワークシート2

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備 考
		・長くのこるもの ・多くの人が見る			
3	陶板にする絵を話し合っ て決定する。	陶板にする絵を決 める。	陶板にする絵に込め る思いなどを考えさせる	未来に残したい常 滑の風景を意識し た下絵を選択しよ うとする。	《準備するもの》 ・写生会で児童が 描いた作品 【事前の手配】 ・陶彫会との打ち 合わせ
4 { 7	制作手順 を知り、 さまざま な技法を 学ぶ。	自分の好きな絵を 陶板で試しにつく る。	協力者の陶芸家の方 の技術指導を受け、陶板 を使って練習する。	陶板制作に必要な 技能を知る。 (観察) 陶板制作に必要な 技能を高めるよう 練習する。 (観察)	【依頼する 外部人材】 ・陶彫会 ・陶芸会 ・常滑「手造り急 須」の会 《準備するもの》 ・たたら板 ・しっぴき ・へら ・新聞紙 ・雑巾 ・タオル
8 { 10	焼き物の よさを感じ 取りなが ら、制作 する。	練習したことを生 かして実際につく る。 自分の分担のとこ ろを制作する。	練習したことを生か して制作する。 となりと協力して制作 させる。 作品を完成させる上 でどうしても必要な部分 は、専門家の手助けを いただく。	練習したことを生 かして、制作する。 (観察)	【依頼する 外部人材】 ・陶彫会 ・陶芸会 ・常滑「手造り急 須」の会
11 ・ 12	設置をす ることで、 焼き物を通 して地域に 貢献できた 喜びを味わ	焼き物の扱いに気 をつけて協力して設 置する。	通行人の感想を直接聞 く機会がないため、設 置のおりに聞いておく ようにさせる。	陶板設置の意義を 考えながら 友達と 協力して設置作業 を行う。 (観察)	【依頼する 外部人材】 ・陶彫会 ・陶芸会 ・常滑「手造り急 須」の会

時	本時のねらい	児童の学習活動	教師の支援	評価計画	備考
	う。				《準備するもの》 ・焼き物用接着剤
13 ・ 14	自分たちの制作した陶板を地域や未来・世界にどのよう に発信するかを話し合う。	活動についてまとめ、地域や未来・世界に発信する計画を立てる。 ・パンフレットをつくり、配布する。 ・ポスターをつくり、掲示する。 ・新聞に掲載してもらう。	発信する方法について、自由に発表させる。アイデアが出ない場合は、例を出して考えさせる。	地域や未来・世界に発信する方法を考えることができる。 (話し合い)	《準備するもの》 ・ワークシート3
15 { 18	話し合いで決定した発信の準備を行う。	発信方法ごとに準備を進める。 ・発信先に連絡を取る。	グループに分かれて、分担して発信活動を行うようにさせる。	自分たちの活動をわかりやすくまとめることができる。発信相手を意識してまとめることができる。	《準備するもの》 ・ワークシート4
19 ・ 20	発信する。	発信活動をする。 ・依頼先に届ける。	この時間にもっていけないグループについては、別の時間に対応するようにする。		
21	活動を振り返り反省するとともに、お世話になった方に感謝をし、これからの自分に生かそうとする。	学習のまとめをする。 ・お世話になった方々へお礼の手紙を書く。 ・感想を書く。 ・ワークシートのまとめをする。	単元のまとめとして、自分が体験したことだけでなく、活動を通して新たに考えをもったことや常滑に対する思いについても記述させるようにする。	地域のよさやこれからの自分の役割に気づく。 (ワークシート5)	《準備するもの》 ・お礼の便せん ・ワークシート5 (感想用紙)

(5) 年間計画の中の位置づけと他教科との関連

総合的な学習の時間年間計画

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				1 計画		2~10 制作	焼成	設置	13~21 発信	
					図工 写生会					